

## 入 選

私たちの大切な水

銚田市立銚田北中学校

二年 箱 崎 ゆきの

いつものように、犬の散歩に出かけたときのことだ。私は、ダムを近くを通ったときにとてもびつくりした。普段は水がほとんどないダムにたくさん水がたまっていたのだ。前の日に雨が降ってはいしたが、まさかこんなに水がたまっているとは思わなかった。皆さんは、ダムの役割を知っているだろうか。ダムは、水を一時的にためて安全に流す『治水』だけではなく、様々なはたらきがある。

例えば、『利水』。『利水』とは、ダムにためた水を、水道用水や工業用水、農業用水などとして利用することだ。これによって、あまり雨の降らない季節でも、安定して水を利用することができるようになっていく。

また、川の流れや河川環境を守ることで、川の水が減少したときにためてある水を定量流して、水質や生態系を保護し、まもっている。

さらに、ダムでは、『水力発電』をすることができる。『水力発電』は、水を高いところから低いところに向かって流し、その勢いで水車を回すことで電気を作り出す。このときに使うのは水という再生可能エネルギーだけなので、石炭や石油などの限られた資源を燃やす必要がない。そして、それらを燃やすことで発生する二酸化炭素などの温室効果ガスを排出しないため、地球にやさしい。

しかし、今、世界中で水不足が進行している。中国では、黄河の川の水が海まで到達しないことが起きている。また、インドやアメリカでは地下水位が低下している。「水を守るために私たちにできることは何だろうか。」と思い、考えてみた。

一つ目は、節水をすることだ。水道の蛇口から流れてくる水は、一秒で二百cc。十秒流しっぱなしにするだけでも、二リットルも無駄に流れていってしまう。歯をみがくとき、顔を洗うときに蛇口を締め

るだけで、無駄に流れていく水を減らすことができる。また、お風呂の残り湯を捨てずに洗濯や植木の散水などに再利用したり、使い終わった食器をため洗いすることで、使う水の量を減らすことができると思う。

二つ目は、できるだけ水を汚さないようにすることだ。使い終わった油を排水口に流し込むと、配水管が詰まってしまうだけではなく、流した油をきれいにするために、たくさん水が必要になる。フライパンを洗うときに、キッチンペーパーで油をふきとってから洗うようにすれば、排水口に油が流れず、洗剤の使用量も抑えることができる。また、ごみのポイ捨てをしないようにすると、川や海にういているビニール袋などのゴミが減って、水がきれいになると思う。

一人一人が節水することや水を汚さないようにすることを心がければ、きっと、水不足は解決できると思う。

地球には、おおよそ十四億立方キロメートルの水がある。しかし、そのほとんどは海にあるため、私

たちが生活に使えるのは地球全体の水の量の〇・〇パーセントくらいしかない。この貴重な水を守るためには、一人一人が「自分には関係ない。」「一人くらいならいいだろう。」と思わないことが大切だと私は思う。私も、これからは、節水や水を汚さないことを心がけ、水を守っていけるようにしたい。